

令和6年度 志教育全体計画

宮城県柴田高等学校

校 訓		
「自律・敬愛」	「英知・創造」	「忍耐・強靱」

本校の教育目標
(1) 礼節を重んじ、人に愛情をもって接し、積極的に自己啓発に努める人材を育てる。 (2) 弛まぬ努力により、学力の伸長とともに幅広い教養を身につけ、創造力に富む人材を育てる。 (3) 心身の鍛練により、強健な身体と不屈の強靱な精神力を持つ人材を育てる。

生徒の実態、教師の願い
普通科と体育科の併設校である。部活動が盛んであり、明るく元気な生徒が多い。卒業後の進路は多様で、個々の目標に向かって生き生きと学校生活を送って欲しい。

保護者や地域の願い
柴田町唯一の高校であり、地域からの期待も大きい。部活動の活躍とともに、挨拶の励行など基本的な生活習慣の指導が徹底されていることも評価されている。

「志教育」の目標
(1) 他者とよい人間関係を築きながら自他の理解を深め、自らの生き方を追求していく姿勢を育てる。 (2) 自分の夢実現と社会とのつながりを考え、社会の一員として未来を創造する力を育てる。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
自ら進んで他と関わっていく姿勢を育て、他者の価値観、役割、立場を理解・尊重し、適切なコミュニケーションを図りながら、互いに信頼しあえる人間関係を築く。	多くの人や物、学習との出会いの中で、自己を生かす生き方や進路について考えさせる。進路ガイダンスや進路関係セミナーにより自己の適性を理解させ、将来の職業や社会生活とのつながりを考えさせる。	集団の中での自己の役割を理解し、責任ある行動をとらせることにより、社会の一員としての自覚を持たせる。ボランティアなどの地域貢献活動を通し、将来自分が社会において果たす役割について考えさせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	ICTの適切な活用を含めて「わかる授業」を積み上げ、各教科の基礎基本の知識と技術の定着を図る。また、学習と自己の将来の関係を考えさせ、各自の選択に基づき、進路希望実現のための実力を養成する。加えて体育科は、競技力の向上と将来にわたってスポーツの振興に関わる姿勢を育てる。
道徳	「自他を尊重する豊かな心」、「自らの考えを表現する力」、「未来をたくましく生きる力」の育成に努める。
総合的な学習の時間	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。
特別活動	生徒会活動やHR活動、学校行事に積極的かつ主体的に取り組むことで、協調性、問題解決能力、責任感を養う。また自己の適性や課題を発見させ、自己を高め生かす能力を養う。
その他	挨拶の励行、遅刻指導、清掃指導等を通して、基本的な生活習慣の定着を図る。交通マナーやネットモラルに関する講話により社会的規範について理解し、それを遵守する態度を養う。部活動を通して心技体のバランスの取れた人格を形成する。

各学年の取組内容	
1年	① 各種オリエンテーションの実施 ② 進路適性検査の実施と結果の活用 ③ 各種進路行事を通じた進路目標の考察 進路講話・キャリアセミナー・進路ガイダンス・進路体験講話 ④ 探究活動（基礎・発表） ⑤ 各種講話（交通/薬物/ネット・スマホ/いじめ/保健）
2年	① 進路適性検査の実施と結果の活用 ② 各種進路行事を通じた具体的進路目標の設定 進路講話・キャリアセミナー・進路ガイダンス・進路体験講話 ③ 上級学校オープンキャンパスや合同企業説明会への参加およびインターンシップの実施 ④ 探究活動（実践・発表） ⑤ 各種講話（交通/薬物/ネット・スマホ/いじめ/保健）
3年	① 志望分野別進路ガイダンスや個別の面談 ② 自己表現にかかわる指導の実施 小論文、面接、プレゼンテーション等の指導 ③ 進路希望先の見学・検討 オープンキャンパス・企業合同説明会・達成セミナー ④ 各種進路講話 社会人マナー、金融講座 ⑤ 各種講話（交通/薬物/ネット/保健）

家庭との連携
PTA総会、学校評価、授業・学校行事の公開等を通して情報交換に努め、三者面談等で生徒の特長や能力、進路希望等について共通理解を図る。

地域・企業との協働
社会人講話、地域でのボランティアやスポーツ・文化活動、地域での懇談会や自転車マナーアップ運動などの機会を通じて、社会とのつながりを重視する態度と社会に貢献しうる自己の将来像の育成に努める。

令和6年度 宮城県柴田高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす		
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	数学	○	○	理科	○	○		
	様々な文章を読む力を養い、ものの見方・感じ方を深めながら、物事を主体的に考える態度を身につける。また適切に表現し、伝達・議論し合う力を育てる。			現代の世界や我が国の成り立ちを学び、地理的な差異をふまえた文化の理解と尊重を深め、国際社会に積極的に貢献する資質を養う。			現代の社会のしくみについて理解を深め、自己のあり方生き方を考えて、他者を尊重し、主体的に社会に貢献する公民的資質を養う。			数学的な教材に触れることで、直観力を鍛え、論理的な思考により、どのような問題に対しても客観的に考える姿勢を養う。			自然界における規則性・法則性を学ぶとともに、自然環境に対する観点を養い、地球人の一員としての資質を養う。						
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○
	生涯に渡ってスポーツに親しみ、自らの心と体の健康を適切に管理、改善していく資質や能力を育てる。			多様な学習活動を通じて芸術を深く味わう心情を育成するとともに、自己表現の充実をめざす。			英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てると共に、言語や文化に対する関心を深め、情報等を的確に理解し伝える能力を養う。			ライフプランを展望する力、生涯を見通して生活を考える力や生活の実践力を身に付ける。生活理論と実験・実習を通して生活の実践力をつける。			情報に関する科学的な見方や考え方を養い、社会の中で果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。						
学年共通					かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標											
指導内容	①挨拶の励行	○	○	○	1年	○新しい環境に適応し、規則正しい生活習慣を身につける。 ○規範意識を高め、集団の中で自己の役割を積極的に果たす。 ○意欲的に学習や競技力の向上に取り組む姿勢を身につける。 ○さまざまな情報を求め、自分の進路について暫定的に決定する。													
	②ベル着の徹底	○	○	○		2年	○自律性を高め、自他の差異を認めつつ良い人間関係を構築する。 ○学習活動を通して、自らの職業観・勤労観を深める。 ○卒業後を視野に入れ、多角的・多面的に進路情報を集め検討する ○進路希望をより具体化し、実現の条件や課題を理解、検討する。												
	③清掃活動の徹底	○	○	○			3年	○自分の能力、適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する。 ○自己実現と社会貢献のために取り組むべき課題を見つけ、実行する。 ○理想と現実の葛藤を通して、困難克服のスキルを身につける。											
	④清楚な身だしなみ	○	○	○	1年	○新しい環境に適応し、規則正しい生活習慣を身につける。 ○規範意識を高め、集団の中で自己の役割を積極的に果たす。 ○意欲的に学習や競技力の向上に取り組む姿勢を身につける。 ○さまざまな情報を求め、自分の進路について暫定的に決定する。													
	⑤週末課題等各教科の課題提出	○	○	○		2年		○自律性を高め、自他の差異を認めつつ良い人間関係を構築する。 ○学習活動を通して、自らの職業観・勤労観を深める。 ○卒業後を視野に入れ、多角的・多面的に進路情報を集め検討する ○進路希望をより具体化し、実現の条件や課題を理解、検討する。											
	⑥校歌斉唱	○	○	○	3年		○自分の能力、適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する。 ○自己実現と社会貢献のために取り組むべき課題を見つけ、実行する。 ○理想と現実の葛藤を通して、困難克服のスキルを身につける。												
指導内容		ねらい				指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす							
1年	スタディーサポート	学習習慣・意識を振り返り、高校生活のスタートにおいて目標を立てる。また、学期の途中で生活状況を振り返り、自己評価し改善を試みる。			特別活動		4月、8月	4	○	○	○								
	進路適性検査・結果の考察	進路適性検査を通じて自己の興味・適性を考え、職業や学問と関連づける。			総合探究		5～7月	1	○	○	○								
	各種進路行事 (講話・セミナー・ガイダンス)	様々な職業分野・学問分野について知識・情報を得て職業観・価値観を養いながら、進路選択の目標設定の参考とする。			特別活動		6～3月	6	○	○	○								
	先輩の進路選択に学ぶ (進路体験講話)	先輩の経験談を聞き、進路についての考えを深め、目標実現の手がかりとする。			特別活動		2月	2	○	○	○								
2年	進路適性検査の実施と結果の考察	進路適性検査を通じて自己の能力・適性を考え、職業や学問と関連づける。			総合探究		5～6月	1	○	○	○								
	スタディーサポート	学習習慣を振り返り、新学年における目標を立てる。また、学期の途中で生活状況を振り返り、自己評価し修正を試みる。			特別活動		4月、8月	4	○	○	○								
	各種進路行事 (講話・セミナー・ガイダンス)	自己が志望する職業分野・学問分野に対する知識・情報を自ら求め、職業観・価値観を養いながら具体的な進路選択の目標を設定する。			特別活動		11月	6	○	○	○								
	探究活動報告会	探究活動を報告することで自己の取り組みを再確認し、他者の発表を評価することで課題解決の手法や表現について新しい発見をする。			総合探究		2月	2	○	○	○								
	先輩の進路選択に学ぶ (進路体験講話)	先輩の経験談を聞き、進路についての考えを深め、目標実現の手がかりとする			特別活動		2月	2	○	○	○								
3年	進路分野別ガイダンス	進路希望分野ごとに、進路目標実現までに必要な手続きと情報を得る。			特別活動		4～6月	6	○	○	○								
	作文・小論文講座	作文・小論文試験の概要を知り、自己の考えをまとめ、それを適切に表現するための技法を学ぶ。			特別活動		5月	3	○	○	○								
	進路講話(社会人セミナー)	卒業後の進路に向けた講話を受講する。(社会人マナー、金融リテラシー)			特別活動		12～2月	2	○	○	○								
							合計時数	39											